

# いずみのひろば

2023年11月号  
日本基督教団堺教会  
NO. 538 教会学校

## 大切な宝もの

コリントの信徒への手紙Ⅱ 4:7-15

みなさんは宝ものを持っていますか？

お誕生日やクリスマスに買ってもらったもの、大好きな人からもらったもの。

とても大切な宝ものを、どこにしまっているでしょうか？

どこかにぽいつと、ほおつてはおかず、だいに しまっていると思います。

パウロさんは、「わたしは宝ものを、土の器におさめている」と手紙に書きました。

きれいなガラスの器や、りっぱな絵の書いてある器ではなく、土でこねただけのような器。

パウロさんは自分のことをそう言ったのです。

パウロさんの言う、宝ものというのは、イエスさまのことです。

わたしはりっぱな人でもない、美しい人でもない、強い人でもない。

でも、わたしの内には、イエスさまがいてくださる、そういう意味です。

パウロさんと一緒にいてくださるイエスさまは、わたしたちとも一緒にいてくださいます。

けれども、わたしはときどき、イエスさまを忘れてしまうことがあります。

自分のことに夢中になって、自分のなやみごとでいっぱいになって、

イエスさまのことを、心の中から追いだしていることがあります。

それは、大切な宝ものを、どこかにおき忘れてしまうようなことかもしれません。

だから、毎週日曜日に教会にきます。そして、イエスさまに出会います。

わたしは、土の器。

この土の器にはもつたないほかに、きらきらとかがやくイエスさまを

大切に大切に抱きしめて、家にかえります。

小林素子先生 (おはなし)